おびひろ 市議会だより

No.53
令和８年
２月定例会号

帯広の森・はぐくーむにて

２月定例会ではこんなことを行いました！

会期 令和８年２月26日(木)～３月23日(月)

一般質問

20人の議員がそれぞれ一般質問を行いました。
（詳細は２～３ページへ）

議案審査

議案審査特別委員会を設置し、令和７年度補正予算などを審査しました。
（詳細は下記に記載）

予算審査

予算審査特別委員会を設置し、令和８年度予算などを審査しました。
（詳細は４ページへ）

意見書の提出

生産現場に寄り添った農業政策を求める意見書

意見書１件を可決し、国会や関係行政省庁へ提出しました。

議案審査での質疑をピックアップ！

市長から提案された補正予算などの議案のうち、本会議にて委員会付託の上審査することに決めたものについて、議案審査特別委員会を設置し、審査を行いました。議案はいずれも原案のとおり可決されました。
以下、質疑の一部を紹介します。

PICK UP 1

議案第22号　令和７年度帯広市一般会計補正予算（第11号）

公定価格引き上げに伴う私立保育所等職員の給与改定

こんな質疑や意見がありました

国の令和７年人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定の内容に準じた保育士・幼稚園教諭などの給与改定率は令和６年と比べ5.3％の増となっており、令和７年４月にさかのぼって公定価格の引き上げが行われたとのこと。

給与改定分については、迅速かつ確実に賃金の支払いに充てるよう運営法人に要請し、市もその支給実態を引き続き確認していくべき。

市内の保育所

市内の認可保育所の施設数は、公立保育所は７施設、私立保育所（園）は22施設。公立保育所については、児童数の減少と３歳未満児の保育需要の高まり、保育施設の老朽化などにより、民間移管や統廃合などの再編をすすめていく予定です。

PICK UP 2

議案第22号　令和７年度帯広市一般会計補正予算（第11号）

帯広競馬場の施設整備と基金の活用

こんな質疑や意見がありました

これまで、基金を活用して厩舎建築やスタンド入場口改修、装鞍所兼採尿所整備、投票端末機入替えなどを行い、公正確保や来場者の利便性向上に取り組んできたとのこと。

令和８年２月には、今後の施設整備の考え方が示され、引き続き、基金を活用した計画的な施設整備を予定しているとのことだが、施設整備に当たっては、関係者の声を踏まえた厩舎建築やばんえい競馬のさらなる魅力向上に資する集客施設の整備を行うべき。

「ばんえい」という言葉の由来

ばんえいを漢字で書くと「輓曳」。「輓」も「曳」も荷物などを引くことを意味します。北海道の開拓において荷を引き、農耕や木材運搬を支えた馬たちは、人を乗せる「乗り馬」に対し、「輓き馬」「輓馬（ばんば）」と呼ばれ、これが「ばんえい」という言葉の由来になったと言われています。

「100センチの目線」と市政16年の歩み

菊地（きくち）　ルツ 議員（立憲）

質問 市長は１期目に「100センチの目線」を掲げ、市民と同じ目線の高さでまちづくりをすすめてきた。この原点が現在の市政運営にどう生かされているのか。市民の声を反映した事例は。

答弁 市長記者会見における手話通訳の導入や音声認識アプリ「ＵＤトーク」の活用、子ども医療費助成の拡充などに取り組んできた。

質問 16年間で実質公債費比率の改善や通常債残高の減少、基金残高の増加など、財政の持続可能性は改善。「将来世代に選択肢を残す財政構造」への転換と受け止めている。16年間の財政運営の総括は。

答弁 負債を減らしつつ将来への投資を行い、地域の稼ぐ力を高めることで堅調な税収が維持され安定的な財政運営が行えてきたと捉えている。

競馬場駐車場の出入口を共栄通にも

谷保（たにほ）　寿彦（としひこ） 議員（自・無）

質問 競馬場駐車場の安全対策として、車両通行用の矢印表示の設置や歩車分離などの方策も考えられるが、市の考えは。

答弁 現在の運用により、安全は確保できているものと考えているが、今後の利用状況を踏まえ、必要に応じた改善を検討していく。

質問 現在の白樺通の出入口は最適とは思えないため、市内の交通事情や駐車場内の動線を踏まえて、共栄通に面した出入口が必要と考える。試験的に出入口として運用してはどうかと考えるが見解は。

答弁 多くの方に安心して来場していただくためには、周辺道路にも配慮した上で駐車場内の安全を確保することが重要であり、来場者の満足度向上につながるものと考えている。共栄通への出入口の設置について、安全性と利便性の両方の観点から必要性を検討していく。

健全な財政運営の必要性からみる物価高騰対策と市民生活

有城（ありしろ）　正憲（まさのり） 議員（市政）

質問 令和８年度に水道料金基本料金を過去最長となる10カ月免除するが、免除にかかる事業費と長期間実施する考えに至った理由は。

答弁 今回実施する10カ月間の免除にかかる事業費は約10.7億円であり、そのうちの約1.5億円が一般財源である。物価高騰対策には、長い期間の支援が必要であると考えたこと、また、水道料金基本料金の免除は、市民側に手続きなどの負担がなく、国から交付される財源を余すことなく還元できるものと判断したもの。

質問 苫小牧市、釧路市、北見市と比較して、帯広市は実質公債費比率および将来負担比率の数値はどのような状況か。

答弁 実質公債費比率は帯広市8.2、苫小牧市8.5、釧路市10.3、北見市12.5、将来負担比率は帯広市10.3、苫小牧市79.1、釧路市38.5、北見市153.5でいずれも低い状況。

なぜ米沢市長でなければならないのか

三浦（みうら）　勇利（ゆうり） 議員（市民）

質問 市長は出馬表明会見で、新人２人の政策と第七期総合計画は９割方一緒だと述べている。まちづくりの方向性が大体同じだと感じている中で、なぜ自分でなければならないと考えているのか伺う。また、市長は過去に、国の制度は理屈だけで決まるのではなく政治の力学が働くことがあり、地元国会議員の存在が大きいと語っていたが、昨今の国政の状況も踏まえ、米沢市長であることの強みは何か。

答弁 地方大学・地域産業創生交付金や地域生活圏形成リーディング事業の採択を受け、現在は十勝ＡＩ農業特区指定に向けた協議もすすみ、帯広川西ＩＣフードテックパーク事業にも企業の関心が高まっている。こうした中、他の首長、企業のトップ、国会議員、官僚との16年間で築いたネットワークを最も生かせるのは自分であると考える。

食と観光が帯広市にもたらすもの

佐々木（ささき）　直美（なおみ） 議員（立憲）

質問 2025年農協取扱高の畜産部門は８％増の2,473億円。一見好調に見える農業だが、飼料代、光熱費の高騰、規模拡大に伴う投資の金利変動などが運営を圧迫している。農業を持続可能にするためには、補助金に頼らず、高値で販売できる出口の確保が必要。餌代などの飼育経費が同じであれば輸出向けの高品質な牛肉の１頭当たりの利益は1.5倍から２倍近く向上する計算に。また、円安局面では自動的に円建ての収益が膨らむ。食肉の海外輸出拡大に関する考えは。

答弁 北海道畜産公社十勝工場で処理される牛肉のうち輸出は２％弱の約167ｔ。国内の人口が減っていく中、輸出に取り組むことは重要。

提言 畜産事業者支援として、安定経営につながる輸出拡大に取り組むべき。畜産公社、ホクレンなどと連携し推進を。

ひろびろチョイスの運用について

今（こん）　識史（のりひと） 議員（市民）

質問 令和７年12月定例会の一般質問で不登校児童生徒支援ひろびろチョイスの安全性に関する質問を行ったが、今後どのようにひろびろチョイスを運用していくのか。

答弁 令和８年度に向けて、利用者が安心して利用できる環境づくりについて検討しており、個々の利用者にライセンスを付与して管理するシステムの導入をすすめていきたい。

提言 ひろびろチョイスは不登校児童生徒に対する新しい形の学びの場であると同時にセーフティーネットの役割もあり、安全性の確保が重要。ライセンスシステム導入以降も、常に子どもたちの安心安全を追求し、今後も不登校児童生徒に対して手厚い支援の継続を。

給水スポットの設置状況とマイボトル冷水器導入の考えについて

大竹口（おおたけぐち）　武光（たけみつ） 議員（公明）

質問 よつ葉アリーナ十勝にマイボトル専用の冷水機能付き給水器を設置しているとのことだが、設置の効果について伺う。

答弁 夏季の暑い時期にマイボトルを持ち歩き、いつでもどこでも適度な水分補給が可能となり、熱中症予防につながると考えている。また、ごみの発生抑制にも寄与するものと捉えている。

質問 マイボトル専用の給水スポットの増設含め、今後の考えは。

答弁 マイボトル専用の給水器のほか、飲用給水器や飲用または給水用の蛇口が多くの市有施設に設置されている状況を周知するほか、今後、熱中症対策についてクーリングシェルター利用者の意見も聞きながら、関係課と連携して取組みをすすめていく。

提言 効果的な熱中症対策を政策的にすすめるよう求める。

緑ヶ丘公園エリアビジョンについて ～併せて緑ヶ丘・花園地域の住環境整備を～

大塚（おおつか）　徹（とおる） 議員（市政）

質問 緑ヶ丘公園周辺の住民から、道路などの周辺のインフラに対する要望・不満を聞いている。春駒通は比較的交通量が多い道路だと認識しているが、なぜ途中で車線数が減る変則的状況となっているのか。

答弁 現在、公園大通から共栄通までの区間は４車線の状態で供用されているが、都市計画道路上の位置付けとしては、緑丘小学校前の区間と同様に２車線の道路として決定していることから暫定整備区間となっている。

提言 早急な整備を求める。また、緑ヶ丘公園エリアを市の目玉にするのであれば、その周辺のインフラや住環境も併せて整備してほしいとの声があることを強く指摘する。

自転車罰則強化の市民への周知と安全確保の取組みについて

工藤（くどう）　進（すすむ） 議員（公明）

質問 令和６年の改正道路交通法において、ながらスマホの罰則強化などに加え、信号無視や通行禁止違反などの自転車の交通違反に対して反則金を納付させる青切符の導入が規定された。罰則強化を知らなかったでは済まないため、周知をすすめる必要がある。市民の安全確保に向け、今後どのように取組みを強化していくのか伺う。

答弁 今後も、自転車の交通ルールに関する周知・啓発を交通安全教室や広報媒体などですすめるとともに、商業施設やイベント会場などでの街頭啓発など、様々な機会と手法を活用して交通事故防止に取り組んでいく。また、警察や関係団体などとの連携を一層強化し、手法の多様化と内容の充実を図りながら、市民の安全確保につなげていく。

提言 市民の安全を最優先に、ヘルメット着用促進に向けた取組みを。

市民の幸福感（ウェルビーイング）に寄り添う市政へ

藤浦（ふじうら）　有希（ゆき） 議員（立憲）

質問 デジタル空間での対話基盤として、住民参加型プラットフォームを導入すべきではないか。

答弁 一定の費用負担が見込まれるほか、運用体制や既存システムとの整合など様々な検討課題があり、現時点で導入の考えは持っていない。

質問 令和７年11月に提出されたアピアランスケアの助成に関する署名簿受理後、庁内でどのような具体的検討が行われたのか伺う。

答弁 他自治体への調査で収集した制度の対象年代、補整具の種類や範囲、助成額や要件などの情報を参考に考え方の整理を行っている。

質問 野良猫などの繁殖抑制に向けて今後どのように対応していくのか。

答弁 市民相談の際、状況に応じてＴＮＲ活動※に取り組む一般社団法人につなげることで野良猫の増加防止を図りたい。

会派名：立憲／立憲民主・市民連合、**自・無**／自由民主党・無所属の会、**市政**／市政会、**公明**／公明党、**共産**／日本共産党帯広市議会議員団　**市民**／市民同盟

※所属会派は、令和８年２月定例会時点の会派名です。

※**TNR活動**：不妊・去勢手術を施し、野良猫の繁殖を抑制する活動。Trap（捕まえる）、Neuter（手術する）、Return（戻す）もしくはRelease（放す）の頭文字をとってTNR活動と呼ばれる。

民生委員の担い手不足対策と自殺予防対策について

今野（こんの）　祐子（ゆうこ） 議員（公明）

質問 全国的にも民生委員の担い手不足が顕在化し、帯広市でも充足は厳しい状況である。民生委員確保に向けた今後の市の取組みを伺う。

答弁 民生委員の充足に向け、市のホームページやＬＩＮＥ、広報おびひろを通じた周知や候補者への個別の働きかけを継続するほか、仕事をしている方でも活動しやすいよう、会議の開催時間を見直すなど、委員が活動しやすい環境づくりに取り組んでいく。

質問 自殺対策基本法に基づく学校での子どもの「ＳＯＳの出し方教育」の実施状況と「こころの体温計」の利用状況を伺う。

答弁 「ＳＯＳの出し方教室」は令和８年１月末時点で５回実施し、219人が受講。「こころの体温計」の過去３年間の月平均アクセス数は2,200件、年代別では30代から50代の利用が全体の約６割を占めている。

子育て世帯の時間負担軽減と利便性向上に向けた取組みは

柳田（やなぎだ）　健太郎（けんたろう） 議員（立憲）

質問 子育て世帯・共働き世帯の時間的負担をどのように認識しており、今後どのような対応を検討しているのか。

答弁 行政サービスは、業務の効率化という観点とともに、市民にとって時間的な負担や複雑さが少ない方が望ましいものと考えている。子育て世帯・共働き世帯は、時間に余裕を持ちにくいケースもあることから、それらの世帯を対象としたオンライン申請やスムーズな情報発信による利便性向上を図っていく考え。

質問 オムツのサブスクリプション導入に向けた課題整理の進捗を伺う。

答弁 来年度に公立保育所１カ所において、１カ月ほど試行的に実施する予定。保護者や施設から意見をいただき、導入を検討する材料として他の施設へ情報を共有していきたい。

「財政収支計画」を立てて歳入についても見通しを持った運営を

播磨（はりま）　和宏（かずひろ） 議員（共産）

質問 令和７年度予算における地方交付税の状況は。

答弁 普通交付税は約157.6億円となり、当初予算対比で、約10.6億円の増となっている。

質問 普通交付税の算定には、人口などから計算した基準財政需要額を用いるが、市に交付される地方交付税の今後の見通しは。

答弁 国の骨太の方針において、令和９年度まで一般財源の総額を確保するとされており、同水準で維持されるものと捉えている。

質問 「財政収支計画」を作成し、歳出だけではなく歳入についても見通しを立てていく必要があるのでは。

答弁 中・長期的な視点も持ちながら、今後も推進計画に合わせた収支見通しの作成を検討する。

ライフステージに応じた歯・口の健康について

大和田（おおわだ）　三朗（さぶろう） 議員（自・無）

質問 今後の市内小学校におけるフッ化物洗口の事業拡大やそのすすめ方について市の考えを伺う。

答弁 令和８年度は、全小学校においてフッ化物洗口を開始する予定。全校実施にあたっては、これまで実施してきた４校の状況を参考に、各学校の実情に合わせた取組みをすすめていく。また、必要物品の準備や保護者への情報提供など、学校と教育委員会が連携して、安全安心に実施できる体制づくりをすすめ、２学期から実施する考え。

提言 市内のすべての小学校でフッ化物洗口を実施するにあたり、多くの関係者の皆様に感謝申し上げる。今回の決定により、子どもたちへ歯・口の健康をプレゼントすることで、将来的に全身の健康維持、増進につながると考える。

かんがい整備による事業効果はなんと57億円 証明書コンビニ交付への誘導策としての手数料値下げ

西本（にしもと）　嘉伸（よしのぶ） 議員（市政）

質問 かんがい整備による農業所得向上や地域経済への波及効果は。

答弁 国の試算では、作物生産量の増加や品質向上、営農経費の削減などにより年間約57億円相当の事業効果を見込む。

質問 証明書コンビニ交付への誘導策として、交付手数料を下げることで窓口での手数料との差別化を図った場合の財政面への影響や業務効率化の評価は。

答弁 令和９年度からの新料金への改定に向けて検討している。改定にあたってはコスト回収率100％とする基本方針を継続し、マイナンバーカードを用いたコンビニ交付など、デジタル技術を活用することによりコストを抑制できるものは、窓口交付と分けて料金設定をするなど、適切な受益者負担と利便性向上を図る。

学校指定Ｔシャツの見直しを 不登校児童生徒の健診受診機会の確保を

大平（おおひら）　亮介（りょうすけ） 議員（共産）

質問 物価高騰で教育費の保護者負担が増す中、学校指定品のあり方についてどのような見直しがされたのか。また、学校指定品の購入・着用について義務ではない旨をどのように周知するのか。

答弁 全校で校則が見直され、指定品以外のＴシャツ着用が可能に。引き続き、学校だよりなど各学校の実態に応じた方法で周知されると認識。

質問 不登校児童生徒の中には学校健診を受けられない実態があり、健康格差が懸念される。受診状況と対応は。

答弁 未受診は約１％。登校時に検査を実施するほか、家庭訪問などで受診を促す。また、学校に行けない未受診者が健康診断を受けやすくするための方策が国で検討されていることから動向を注視する。

提言 不登校による未受診者が無償で健康診断を受診できる機会確保を。

人口減少下における豊かな帯広市をきずくために！

鬼塚（おにづか）　英喜（ひでき） 議員（自・無）

質問 人口減少、少子高齢化が進む中、人口減少に歯止めをかける第３期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略のこれまでの成果は。

答弁 これまでの取組みにより、道内主要都市と比べ比較的緩やかな人口減少となっているほか、個人所得や地価も上昇傾向にあり、地域の活力が徐々に高まってきていると捉えている。

質問 市民から、働く親のニーズに合わせて市内の小児科での診療を19時まで延長してほしいとの声があるが、現在の診療体制は。

答弁 一般診療時間は医療機関においておのおの定めている。一般診療時間外において自力で受診可能な軽度の急病患者に対し、初期救急体制を整備している。

平和・くらし・人権が一番の帯広に

杉野（すぎの）　智美（ともみ） 議員（共産）

質問 市民とともに作った核兵器廃絶平和都市宣言の制定から35年。世界の平和の状況は厳しさを増し、日本も戦争できる国への準備がすすめられようとしているが、宣言の意義について伺う。

答弁 宣言の理念を周知し、平和の大切さを継承するため、市民が中心となって啓発事業を継続的に実施したところであり、広島・長崎の惨禍や戦争の悲惨さについて理解を深める機会となっている。

提言 広島・長崎への子どもの派遣について検討を。

質問 憲法25条に基づく生活保護の捕捉率は２割程度といわれ、必要な人が利用できていない。捕捉率の引き上げが重要ではないか。

答弁 生活困窮者を把握し、必要に応じて生活保護制度の利用につなげるため、引き続き、庁内や関係機関との連携に努めたい。

計画的で持続可能な財政運営を

林（はやし）　佳奈子（かなこ） 議員（無所属）

質問 今後の財政運営における、大型事業のすすめ方や優先順位の考え方は。

答弁 老朽化度合いだけでなく、整備手法、施設機能や規模、建設費用、市民ニーズや財政状況のほか、将来の人口動態やまちづくりの方向性などから総合的に判断する必要があると考える。

質問 仮に市債の金利が１％上昇すると、財政にどの程度の影響があるか。

答弁 普通会計の令和６年度末市債残高は約671億円であり、金利１％を上乗せした場合、利子にかかる償還額が6.7億円増加する。

質問 財政環境が厳しくなる中で、借金の抑制と公共投資をバランスよく実施することが求められるが、財政規律の基本的な考え方は。

答弁 収支均衡の保持、社会経済情勢の変化、将来負担の抑制などを総合的に勘案し、財政健全化に取り組む必要があると考える。

本市のスクールソーシャルワーカーの現状と今後に向けた要望

椎名（しいな）　成（なる） 議員（公明）

質問 スクールソーシャルワーカー（以下、「ＳＳＷ」）がより働きやすくなることは、子どもたちの発達障害やいじめの問題、家庭問題などに早期から取り組み、福祉などにつないでいくことにつながるなど、結果として子どもの人権擁護にもつながる。ＳＳＷが正規雇用になり、常勤化できれば不登校支援や保護者支援などが充実するとも言われている中、市のＳＳＷの現状と待遇について伺う。

答弁 市では、社会福祉士などの資格を有する３名を配置している。勤務形態については、学校からの要請に応じて派遣する形で対応しており、報酬は時給2,700円、３名で年間800時間程度としている。

提言 ＳＳＷの配置については、予算的に難しい部分があると思うが、不登校などそれぞれの事情に寄り添った支援体制の構築を求める。

どうなる？ みんなの税金

予算について議論しました

市長から提案された令和８年度各会計予算について、予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。**全案件が、賛成多数もしくは全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。**
以下、質疑の一部を紹介します。

広報紙

広報おびひろ

　広報おびひろの配布を民間に委託し、ポスティングや郵送により、全戸配付するとのこと。
　広報紙は、市民にとって重要な情報源になっていることから、レイアウトなどを改善し、多くの市民に読まれるよう作成すべき。

コミュニティ施設

コミュニティ施設へのエアコン設置と管理体制の見直し

　近年の猛暑を踏まえ、コミュニティセンターにエアコンが設置されるとのこと。また、福祉センターの管理体制が見直され、一部の施設で管理人が不在となることから、利用者がカギの開閉を行うためのキーボックスが設置されるとのこと。
　エアコンの設置は一部の部屋のみであることから、未設置箇所への整備を引き続き検討すべき。また、管理人不在となる施設の利用方法について、市民へのきめ細かな説明や安全対策を講ずるべき。

子育て

こども誰でも通園制度

　こども誰でも通園制度は、親の就労要件を問わず、０歳６カ月から満３歳未満の未就園児が保育所などを利用できる制度。
　令和８年度より全国自治体で実施され、本市では公立保育所５カ所において、地域担当保育士２名を配置し、児童の定員は２名、月の利用時間は10時間以内、１時間当たりの利用料は300円で受け入れるとのこと。
　令和８年度の利用ニーズを踏まえ、令和９年度以降の実施手法を検討していくべき。

子育て

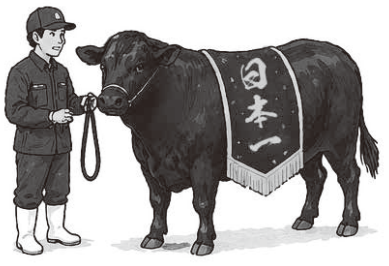
児童保育センターのWi-Fi環境

　保護者や学校などから、学童保育においても家庭と同様に宿題や調べ学習など放課後の学びができる環境が求められていたため、児童保育センターのWi-Fi環境を整備するとのこと。
　セキュリティ対策などの安全管理の徹底や運用ルールの整理により、利用しやすい環境を整備すべき。

和牛オリンピック

「和牛の祭典」が十勝で開催

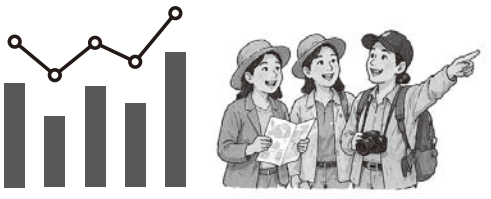
　和牛のオリンピックと呼ばれる全国和牛能力共進会が、令和９年度に十勝で開催される。全国から多くの関係者が訪れることが見込まれるため、交通対策や宿泊先確保に取り組むとともに、食や観光など地域の魅力を発信して経済活性化につなげるべき。



観　光

観光データを活用したマーケティング

　観光客の来訪形態や満足度などのデータを活用して、観光客誘客や観光コンテンツの造成に取り組むとのこと。
　宿泊税を活用することから、納税者である宿泊者の利便性や満足度の向上につながるよう、北海道が実施するマーケティング事業と合わせて、分析結果を効果的に活用すべき。



公園管理

ロボット草刈機の実証実験

　公園管理における町内会の草刈りの負担軽減や担い手不足解消のため、２つの公園でロボット草刈機の実証実験を行うとのこと。
　利用者の安全性を確保しながら費用対効果や他公園への拡充可能性などを検証し、持続可能で効果的な公園管理のあり方を模索すべき。

物価高騰対策

水道料金基本料金免除による物価高騰対策

　水道料金基本料金の10カ月免除は、申請が不要で市民に負担がなく、現金給付などと比べて事務経費が抑えられ、効率的かつ長期的な支援ができる。
　１つの水道メーターで検針している集合住宅などの入居者への周知も徹底するなど、より市民に寄り添った対応を求める。

教　育

小学校の給食費無償化に向けて

　国は、令和８年度から児童１人当たり5,200円／月を基準とした自治体への財政支援を予定しているが、給食費が改定された場合、国の支援では賄いきれない。
　市は、国の地方創生臨時交付金を不足分に充てることで保護者負担を求めない考えだが、交付金の将来的な見通しが立たないことから、物価動向を踏まえた適切な財政支援を国に求めるべき。

本会議での討論

大林　愛慶 議員（立憲）

原案に賛成

米沢市長の４期16年間では、時々の大きな困難に直面し、東日本大震災や十勝に上陸した３台風、北海道全域のブラックアウト、新型コロナウイルス感染症、今なお続く物価高騰などにより、地域は大きな影響を受けた。市民とともに「苦境」を乗り越え、十勝・帯広の潜在的な価値を「磨き上げ」、そして種をまき、ＮｅｗＳｔａｇｅへと新たな価値をつくり、「市民の生活を真ん中に」置いた政策を今後もすすめていくことを期待する。

杉野　智美 議員（共産）

原案に反対（組替動議に賛成）

中小規模事業者、非正規雇用、若者や女性など、生活基盤が弱い市民ほど物価高騰の影響が大きい。国はさらなる増税や社会保険料の引き上げを計画。こうした時こそ地域経済と市民生活を守るために、自治体としてできる施策に可能な限り取り組んでいくことが求められる。国保料引き下げ、就学援助の拡充、水道料金の福祉減免制度制定、子ども権利条例制定など市民の平和とくらし、人権を守るための17項目の組替動議に賛成する。

木幡　裕之 議員（自・無）

原案に賛成

広報おびひろの配布方法の見直しや防犯灯移管後の町内会の状況把握、市民活動交流センターの効率的な運用、上下水道の老朽管の更新や耐震化、スクール・サードステージ・サポーター事業の充実、ばんえい競馬における魅力向上やスピード化に対するソリの改善、効率的で市民ニーズに合った除雪体制の構築などを求め、令和８年度予算に賛成の討論とする。

椎名　成 議員（公明）

原案に賛成

令和８年度一般会計予算をはじめ、すべての議案に賛成の立場で討論に参加する。

物価高騰の影響は、この先も含めとても心配な状況になっており、対応が急がれている。子育て分野や福祉分野の取組みについては物足りないと感じるが、市民の一人一人の生活、命に寄り添った政治を求めている我々の想いは、変わることはない。

今期の最後まで、しっかり市政に取り組んでもらうことを求め、賛成討論とする。

有城　正憲 議員（市政）

原案に賛成

現在、エネルギーや食料品の価格高騰などにより、多くの市民に影響が及んでいる。一方で、財政運営の観点も重要となり、社会保障関連経費の増加や公共施設の老朽化など、自治体財政を取り巻く環境は楽観できない。令和８年度予算は課題に向き合いながらも市民生活の安定と人口減少や物価高騰、福祉、教育など、将来への投資を図った予算であり、本市の持続的な発展に資するものであると判断し、賛成の討論とする。

三浦　勇利 議員（市民）

原案に賛成

令和８年度当初予算は、骨格予算として編成されているが、新規事業や拡充事業の一部には、政策的判断を伴う事業も盛り込まれていると認識している。一方で、議会が市民の声を受けて、繰り返し求めてきたものが予算として形になったものもある。現市政のこれまでの市政運営を無条件に評価し、全面的に追認することを意味するものではないが、市民生活を支える行政サービスを継続していく必要があることから、賛成するもの。

賛否の分かれた議案など［○賛成 ×反対］

		議決結果	1 柳田健太郎 立憲	2 藤浦 有希 立憲	3 椎名 成 公明	4 工藤 進 公明	5 谷保 寿彦 自・無	6 林 佳奈子 ／	7 今 識史 市民	8 三浦 勇利 市民	9 岡坂 忠志 立憲	10 佐々木直美 立憲	11 今野 祐子 公明	13 鬼塚 英喜 自・無	14 大和田三朗 自・無	15 木幡 裕之 自・無	16 播磨 和宏 共産	17 大平 亮介 共産	18 菊地 ルツ 立憲	19 大林 愛慶 立憲	20 稗貫 秀次 ／	21 大竹口武光 公明	22 有城 正憲 市政	23 大塚 徹 市政	24 西本 嘉伸 市政	25 佐々木勇一 市政	26 石井 宏治 自・無	27 杉野 智美 共産	28 楢山 直義 ／	29 横山 明美 ／
動議	令和８年度帯広市一般会計予算外４会計予算について、これを撤回の上、組替えを求める動議（議案第３号、議案第４号、議案第７号、議案第10号、議案第11号）	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	議長
議案第３号	令和８年度帯広市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第４号	令和８年度帯広市国民健康保険会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第５号	令和８年度帯広市後期高齢者医療会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第６号	令和８年度帯広市介護保険会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第７号	令和８年度帯広市中島霊園事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第10号	令和８年度帯広市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第11号	令和８年度帯広市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第12号	帯広市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第13号	帯広市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第17号	帯広市介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第18号	帯広市保育所設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第19号	帯広市国民健康保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

2月～4月 常任委員会等の動き

総務委員会

重点調査項目
- ○自治体経営の推進
- ○防災・減災

質問通告
移動投票所の導入に向けた検討状況／衆議院議員総選挙の状況や今後の取組み／住民票等窓口の案内表示と配架物

理事者報告
使用料・手数料改定の考え方（案）／帯広市強靱化計画（原案）に対するパブリックコメントの結果と計画（案）

厚生委員会

重点調査項目
- ○保健衛生及び子育て支援
- ○高齢者・障害者福祉及び介護保険
- ○市民協働

質問通告
共同募金の募金額減少／保護司の安全確保に向けた取組み

理事者報告
第２期おびひろこども未来プラン改定（原案）に対するパブリックコメントの結果と計画（案）／帯広市新型インフルエンザ等対策行動計画改定（原案）に対するパブリックコメントの結果と計画（案）

経済文教委員会

重点調査項目
- ○農林業及び畜産業の振興
- ○地元企業の活性化及び観光振興
- ○学校教育

質問通告
姉妹都市・友好都市の緊急時における対応

理事者報告
帯広市の観光振興の考え方／帯広競馬場施設整備／帯広市農業産出額（令和７年推計値）／帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画（後期計画）（案）／学校給食費の改定に係る答申／帯広市児童会館・帯広百年記念館の今後のあり方

建設委員会

重点調査項目
- ○都市とみどりの維持・保全
- ○上、下水道の維持管理

質問通告
公共交通の現状と課題／メガソーラー開発への対応と条例整備の検討状況

議会運営委員会

協議事項
閉会中における議員の辞職許可／会派届出事項変更届／新たな議会構成に伴う確認事項／令和８年第１回定例会の運営／議会運営委員会調査報告書の取りまとめ／その他

議会トピックス

お出かけ 意見交換会

in 帯広大谷短期大学

若年層の皆様からのご意見を聴取するため、令和８年１月30日に帯広大谷短期大学の学生と意見交換を行いました。
当日は議員と学生が４つのグループに分かれ、それぞれ設定したテーマに沿ったアイデアの発表や意見交換を行いました。
いただいたご意見の一部を紹介します。

A班

住みやすいまちにするためには

- 放課後に自由に利用できるフリースペースを整備してほしい
- 本屋が増えてほしい
- バスの便数の増加や経路を見直してほしい
- 利用しやすい奨学金制度がほしい

B班

高齢者が地域で安心して暮らし続けるには

- 高齢者施設の増設や介護の担い手確保、配食サービスの充実など、高齢者がサービスを利用しやすい環境を整備してほしい
- 高齢者や介護者の考えや意見を聞く機会が少ないのでは

C班

私たちの世代が住みやすい十勝

- 学生が放課後に遊べる場所を増やしてほしい
- 街灯が少なく暗いため増設してほしい
- 若者向けのイベントをもっと開催してほしい
- 速やかな除雪をしてほしい
- 介護福祉士や保健師の賃金改善が重要

D班

若い世代に魅力あるまちづくり

- 子どもの室内の遊び場や子連れでも安心して飲食ができる場所があったらいいのでは
- 長時間安心して勉強できるスペースなどを整備してほしい
- 動物園の遊具の増設などリニューアルを検討してほしい

議会運営委員会 都市行政調査報告

日程 令和８年１月26日(月)～１月29日(木)

調査先・調査事項

茨城県取手市
- ICT技術等を活用した議会改革の取組み

東京都あきる野市
- 通年議会の取組み
- 議会だよりのリニューアル

石井　宏治 議会運営委員長 所感

令和８年１月26日から29日までの４日間、茨城県取手市と東京都あきる野市を訪問し、議会運営検討項目となっている事項についての調査を行った。

取手市ではＩＣＴを活用した議会改革の取組みとして、主にオンライン委員会の開催状況や課題、導入経費などについて、あきる野市では通年議会のメリット・デメリットや議会だよりのリニューアルに向けた検討・見直し内容などについて、それぞれ情報収集や意見交換を行った。

本視察で得たものを基に、今後の検討に生かし、活発な議論を展開していきたい。

令和８年６月定例会（予定）

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				6/11 本会議 初日	12	13
14	15	16	17 本会議 代表質問	18 本会議 代表質問	19 本会議 一般質問（予備日）	20
21	22 本会議 一般質問	23 本会議 一般質問	24 本会議 一般質問	25 議案審査 特別委員会	26 議案審査 特別委員会	27
28	29 議案審査 特別委員会	30	7/1 本会議 最終日			

※日程は予定であり、変更することもあります。

編集後記

２月定例会では、新年度予算をはじめ、市民生活に関わる様々な議案について活発な議論が行われました。物価高騰や子育て支援、地域経済、暮らしの安全安心など、日々の生活に直結する課題に向き合いながら、限られた財源をどのように生かしていくのかが問われた議会であったと感じています。

今後も、市民の皆様にとって身近でわかりやすい議会だよりとなるよう努めてまいります。

（編集委員　柳田　健太郎）

本会議・委員会の様子は、市議会ホームページにて生配信をしているほか、録画も配信しています。

市議会HP　映像配信

発行 帯広市議会　編集 議会だより編集委員会　発行日 令和８年６月１日
●お問合わせ／帯広市西５条南７丁目１（帯広市議会事務局）　●TEL (0155) 65-4221　●FAX (0155) 23-0164　●Eメール city_council@city.obihiro.hokkaido.jp